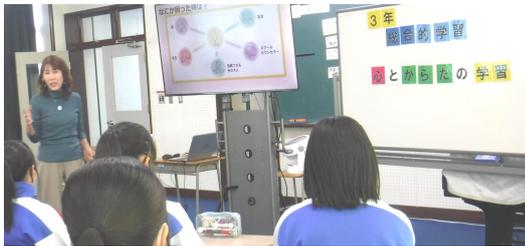


どんぐり村の こみ・すく通信

令和8年2月10日発行 令和7年度 第21号
更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

更中3年「性教育講演会」

昨年12月19日(金)に、更別中央中3年生の「心とからだの学習」として、「いのちの誕生と生き方について考えよう」をテーマにした「性教育講演会」が開かれました。講師は、助産師の中山由香里さんでした。中山さんは、「全ては奇跡の出会いから」(3億分の1の可能性)とし、人の命の尊さや自分を大事にすること等を熱く語られていました。生徒からは、「生きていることの大切さを学んだ」、参観された保護者からは、「家庭で子どもと話をしたい」という声を聞くことができ、有意義な講演会となりました。



小中連携で「体力測定」

昨年12月23日(火)に、初めての試みとして、村内の小学1・2年生の「体力測定」を、更別中央中1年生が支援しました。測定種目は、「シャトルラン」と「反復横跳び」でした。小学生は、中学生が見てくれたり、いっしょに走ってくれたりすることで、一層のやる気を発揮することができたようでした。体を動かすことで、小学生と中学生の会話もおのずと増え、いたる所で笑顔が見られました。



中学生の力は絶大!

更中3年「議会訪問」

同じく12月23日(火)に、更別中央中3年生が「総合的な学習の時間」で、更別村の議会を訪問しました。

生徒からは、福祉や観光・交通等の5つのテーマ別に作成した更別村活性化案、さらに、活性化する際の課題を解決する方法についての発表がありました。その提案について、今の現状も踏まえながら各議員からコメントをしていただきました。



どのグループも、中学生らしい視点での提案で、「市街地にも道の駅のような場所を設けてはどうか?」「街灯



をもっと増やしてはどうか?」といったものもありました。

議員の方からは、「村の将

来に対する思いがよく伝わるいい発表だった」「今後の政策の参考にしたい」等、お褒めの言葉をたくさんいただきました。

上更小で「冬の避難訓練」

年を越して、1月22日(木)に、上更別小学校で「冬の避難訓練」が実施されました。地震が起きて、ボイラー室から火災が発生したという想定での訓練でした。地震が発生した際の子ども達は、すぐに机の下に身を隠し、揺れがおさまるまで待っていました。その後、校内放送での指示に従い、校舎外に出て、雪道で滑りやすい中、無言ですばやく行動し、所定の場所に集まることができました。

集合場所では、更別消防署の方からの講評があり、上手にできたことを褒めていただきました。

